

第7回富山地区学校再編検討委員会次第

日時 平成21年10月6日 午後7時

場所 富山公民館 多目的ホール

1. 開会

2. あいさつ

3. 報告

4. 議事

(1) 幼稚園・小学校の再編時期について

(2) 幼稚園・小学校の名称について

(3) 第8回会議開催日程について

5. 閉会

6. 連絡事項

第7回富山地区学校再編検討委員会 会議録

平成21年10月6日(火) 午後7時
富山公民館 2階研修室
記録者 小磯 英明、満平 恒一
欠席委員 吉野委員、若林委員、
嶋田委員、福島委員、
戸倉委員

1 開会

2 挨拶

委員長 前回まで審議をいただき、統合の場所は岩井小学校と決まった。これから具体的に細かいことについて、統合の時期、学校名等を審議し、その後各地域で説明会となる。よろしくお願いします。

教育長 前回共通理解を図ることができ、感謝する。その他、台風18号の対応、新型インフルエンザの状況について説明。

3 報告

事務局 議事録を前もって配布した。活用していただいたと思う。前回の検討委員会の中で、学校の位置は岩井小という方針案が出された。よろしくお願いします。

これより、設置要項の定めにより委員長に議長をお願いする。傍聴人の申し出があった。入ってもらってよろしいか。

委員長 許可する。(傍聴人3名入室。)

4 議事 これより委員長が議事進行

委員長 本日の出席委員14名。過半数に達しているので、会議は成立する。

第1号議案「幼稚園・小学校の再編時期について」を議題とする。事務局より説明を求める。

事務局 資料に基づき説明する。目安を示した。皆さんに検討してほしい。平成19年に作った市の計画では、第1期推進は平成20年～22年としている。平成22年末に統合することをベースに、たたき台としてのスケジュールを作った。

検討委員会は、統合まで継続して会議が続くものと考えている。基本的な合意事項は次の3点。

1. 学校の位置
2. 再編の期日
3. 幼稚園小学校の名称

前回の会議で学校の位置が決定したので、今後、再編の期日・名称の検討をする。平成22年度末を目標とすると、今後地域説明会及び合意を市に報告し、細かなことを詰めていく。時間的な関係から、地区説明会は11月から12月を目安に開催する。基本的なことを地域に示す場として地区説明会がある。それを元に検討委員会として市に報告していく。

基本的事項報告・意見具申は12月からの期間で市に報告していただきたい。それをもとに統合までの調整が始まっていく。細かな個別的事項として、通学支援・校歌・校章・学用品・行事・授業カリキュラム・PTA組織など、調整事項がある。これらは地区説明会で説明するのと合わせて検討委員会内で協議する。検討委員だけでなくPTA役員にも協議に加わってもらうことが必要だと考える。地域説明会と並行して専門部会も設置する必要がある。統合までの期間で調整しスムーズな統合に繋げたい。

統合に伴い必要な整備は統合までに完了する必要があると考える。

閉校施設の検討は、地域合意ができてからどうあるべきかを地域の方々と検討していく。これからは、検討委員会で話し合った内容を地域、保護者に周知していくこと。区長会・PTA・地区説明会の機会を活用していく。

平成22年度末を目途にしたこれらのスケジュールをたたき台として、統合期日を検討していただきたい。

委員長 質問、ご意見があったらお願いします。

委員 各地区何回くらい説明会を行なうと考えているか。

事務局 地区説明会はそれぞれの小学校区で開きたい。何回という目安はない。検討委員会の方針案が地区の方々に理解されるために必要な回数開催する。第1回は岩井・平群の両地区で各1回開く。全体の話をして意見をいただき、検討委員会に持ち帰り協議し、再度地区で話す、この繰り返しを続けていくことになるので、何回になるかは地域の方の理解の深まり方によると考える。検討委員で十分協議して詰めた原案について話すことなので、検討委員会の協議の深度により理解の深まり方も違うと思う。それを踏まえて今後の協議をお願いする。

委員長 事務局としてはそれで間に合うという考え方か。

事務局 地域の合意が得られれば、平成23年4月も可能であると考えている。

委員 施設の整備について心配なところ。耐力度調査を行なって、その後必要な整備を行なうということだったが、予算等も取れていないのが心配だ。

事務局 耐力度調査と統合に必要な改修とは若干違う。耐力度調査は建物全てをどうするかという話。今回は、統合にあたり必要な部分の改修。トイレの問題、スクールバスの安全な乗降の問題が出た。それらの対応が統合に必要な改修と考える。耐力度調査は一つ先の段階を見据えた調査と考えている。分けて考えて

いただきたい。

ワザハバ 耐力度調査は必要と思った時にすぐやらなければならない。統合に必要なトイレとか、なければならないものをやるのは当然。別に考えない方がよい。

事務局 子ども達の学習環境を考える学校再編はあくまで学校再編。耐力度調査による建て替えなどの今後の施設整備は専門の分会を設置しながら、地区要望も含めて進めていきたい。

ワザハバ 地区説明会で、分けたといたら逆に反論される。

事務局 岩井小の施設を活用して統合するという方針が出された。今後岩井小を耐力度調査する方向で検討している。

委員 耐力度調査は別。現段階で子ども達が生活できるから、それはそれでよい。合併で人が増え、今の岩井小では不便がある。トイレの改修など突貫的にやって1年でできるのか？岩井小を使うのだから耐力度調査は必要だと思うが、現段階では補強していけばいいと思う。

事務局 現状でも建物が不足、現在の施設としてそぐわない面がある。例えばトイレ。男女兼用、2階にない、これらはどういう修繕をしていくべきか確認しながら、設計の専門家に見てもらって、年度内を目安に進めていきたい。工期については使いながら修繕整備をしていくと考える。

委員 2階のトイレが必要。夏休みなど長期の休みを使う。増築よりも改築が好ましい。耐力度調査でダメということになれば無駄な投資となる。改築改装がよいと思う。

事務局 具体的な工期や整備に必要な費用は、現場を改修する量については委員が話した通り。夏休み等、子ども達の休みの期間を中心に使い整備する。改築・増築でなく、修繕と理解していただきたい。

委員 間に合わなければ、平成23年4月までに見切り発車するのか。それとも全てOKになってから統合するのか。

事務局 今の学校施設の有効活用により統合を推進する中では、どうしてもいけない部分は修繕で対応したい。耐力度調査は来年度の当初予算で考えていきたい。現状でどこが直さなければいけない場所か確認し、設計者等の意見をいただきながら直していきたい。平成22度中で全部だいじょうぶという確約については、できる限り1年間を使って修繕をしていきたい。

委員 11月に予定している地区説明会の内容として、岩井小を活用する以外細かいことが決まっていない。トイレも決まっていない。地区で話すのは細部を決めて、これでよろしいでしょうかと聞くのか、基本を了解していただき要望も聞くようにするのか、地区説明会の位置づけは？

事務局 地区説明会は、基本的な事柄を地区の方々に理解していただく場と位置づけ

ている。両小学校が統合すること、いつを目標に統合する、どんな名前の学校になる、という基本的な事柄を理解してもらい、詳細はその都度検討して、それを地域に説明していく必要がある。

まず基本的な3点を理解していただき、次年度に向けて予算取りを考えることができる。細かな事柄について地域から要望を受けて、次年度の予算・事業に反映していくことも可能。基本的な事柄を理解していただき次へいく。

委員 地区説明会で皆さんの了承を得るのが、時期・名前までですね。具体的なトイレの整備に内容とかをみなさんに知らせるわけではないですね。平成23年の4月を目標に向けていいと思うが、無理があったら延ばしてもいいと思う。

事務局 地域の方に無理な負担を強いるのは問題がある。子ども達の環境をよくするのが、この再編の主旨。それを踏まえて統合の時期を考えるべき。必要であれば再度検討する。

委員 地区の方が大規模な改修を考えないが、子どもは安全な環境で勉強させたいということなので、無理がなければ、平成23年を目途に計画通りに進めてよいと思う。

委員 説明会と言っても内容は先ほどの3点以外にない。ほかの意見が出るだろうから、私たちが聞いて検討委員会で協議する形で十分ではないか。何かあればまた説明会をやればいい。

委員 平成23年4月からというのは賛成。決まったことならば早くと思うが、一番心配なのは子ども達の環境。スクールバス・トイレとかいろいろあると思うが、優先順位をこの会議で位置づけて最低限必要なものは確保できる、影響の小さいものであれば延びてもよいと思う。うやむやにして、始まったらあれもこれもできていないということならば困る。会議で道筋ができていくと了解してよいか。

事務局 必要なものは統合までに極力整備しなければならない。行政として子ども達のために最大限努力する。施設整備や必要な事業を推進していくと思う。検討事項の細かな基本的な事柄を市への答申に盛り込んでもらう。検討委員会で優先順位を選択し、最優先・統合時まで・統合後など分類する。子ども達の交流事業は新年度から取り組み、スムーズに一緒になれるようになど、市への答申に盛り込んでいただく。細部については、今後一年かけて詰めていただき、統合までにきちんとするという流れを考えている。

事務局 施設修理について、学校の先生からどういう点に不便があるか、どういう修繕をやっていくか、学校の先生方を中心に状況を確認し、専門家の意見を聞き修繕に取り組みたい。小学校と幼稚園をあわせて修繕を考えている。

委員長 検討委員会として、平成23年4月を目標に統合ということで取り組む。

次に、第2号議案「幼稚園・小学校の名称について」を議題とする。事務局より説明を求める。

事務局 2枚目の資料「富山町の変遷の表」に基づき説明。

今まで学校の名称は、岩井も平群も旧町・旧村の名称にしていた。これは安房地域のほとんどの小学校が昭和の町村合併当初の名前としている。今回新たに富山地区の新たな小学校幼稚園がどういう名称がよいのか、地区説明会へ示せるよう検討していただきたい。

委員 平群小学校ではPTA役員会で検討委員会の状況報告をした。名称等についての意見を出してもらった。富山小学校・富山幼稚園、伏姫小学校・伏姫幼稚園という案が会員から出た。

委員 時期と名前を決めて地区説明会に持っていくというが、公募とか子どもたちに聞いたりして、あわてて決めなくてもいいのではないかと思う。

委員 この検討委員会の意見として方針を決めておいてもよいと思う。却下されたら次の段階で公募等をすればよい。富山とか伏姫とかいう名でいいのかどうか。岩井小自体は残っているのだから、尊重・存続して南房総市の岩井小でよいと思う。

委員 富山がよいと思う。いろいろな経緯があって岩井と平群から昭和30年に富山ができた。現在中学校の名前にも使っている。これからは岩井でも平群でもない、富山で頑張っていこうと切り替えていけばさっぱりする。

委員 皆さんに一番理解してもらえるのは富山小だと思う。2校が一緒になって、その上に富山中もあるのだから。

ワザハバ 南房総市が合併する時、「南房総市」という名前は2番目の候補だった。安房市が1番だった。館山が抜けて安房という名前が使えなくなり2番目の名前を使った。名称には非常に苦労した。

皆さんで意見を出し合うとよい。岩井小にすれば校歌も使えるが、岩井・平群が一つになるのだから、新しい名称の方がよいと思う。岩井小でいこうというのであればそれもよい。委員の皆さんの考えでよいのではないか。地区説明会でもいろいろ意見が出る。一人ひとりが意見を出し合っていくことを大事にしたい。

委員 富山がよいと思う。この会議が始まる時から富山と思っていた。

委員 富山小でも伏姫小でもよい。2つの学校が一つになり新しい学校になるのだから、どちらかの学校の名前を使うとすると、選ばれなかった方はよい気持ちはしない。さみしい気持ちをやるだろう。新しい学校になる場合には新しい名称をつける方がよい。

委員 この間の役員会で富山小を推薦した。伏姫小もよいと思った。岩井小では平

群小がなくなってしまう気がする、悲しい気持ちになる。新しい方がよい。

委員 富山地区は残る。富山中もある。支所も富山支所。富山という名前はよい名前だと思う。

委員 富山小学校・富山幼稚園でよいと思う。南房総市になってから南房総市高崎、南房総市山田になっている。旧富山町の名を残した方がよいと思う。

委員 富山小がよいと思う。

委員長 富山という声が多い。検討委員会の案ということで、異議がなければ名称は富山小学校・富山幼稚園と決めます。

平群は幼・小PTAということだが、岩井は幼稚園が検討委員会に入っていない。次回から岩井幼稚園の保護者にも、検討委員に入ってもらいたいと思うがいかがか。

委員 統合に関するアンケートは幼稚園からもとってある。専門部が発足すれば幼稚園も入ってもらうという話もしてある。

委員長 では、次回から岩井幼稚園の保護者にも入っていただく。

事務局 岩井幼稚園父母の会役員の参加は、この後学校を通じて、次回またはその次から声をかけ、出られる回から入ってもらうよう検討したい。

追加議案として、地区説明会開催について諮りたい。

(追加資料を基に提案した。)

地区で説明する内容は「学校再編の基本的内容」「検討している内容」「理解をお願いする内容」などを考えている。第1回は岩井と平群の各地区で1回ずつ開催し、基本的な事柄、学校の位置、統合の時期、学校の名称を諮り意見を出してもらい、再度、検討委員会で協議することを繰り返す。日程は平群地区11月10日(火)、岩井地区11月12日(木)でいかがか。

事務局 学区代表の委員は、各地区の説明会に同席して欲しい。前に席を作るので並んでもらう。委員長には、両学区に出っていただき座長をしていただく予定。説明は事務局が行う。回答は事務局が中心になると思う。

委員 内容はよいと思う。他の行事と重ならないよう日程を配慮してほしい。

委員長 地区説明会の前に各団体の会議を開催して話し合っておけば、説明会が充実すると思う。それも考慮して、開催の日程を決めてはどうか。

委員 10日は会議があるが調整を考えたい。また、平群小は10月31日に美化作業で集まり話し合う機会を設定できる。

委員長 都合はいかがか。できるだけ多くの委員の都合が付く期日に開催したい。

事務局 若干日程を変更し、平群地区は11月9日(月)、岩井地区は11月12日(木)ということでどうか。

委員長 皆さんいかがか。

委員 異議なし。

委員長 以上の日程に決定した。

事務局 資料を全家庭に配布し周知して、できる限り多くの方が参加できるようにしたい。

委員 例えば、参加を希望する平群の人が平群地区の説明会に都合がつかず、岩井地区の説明会に出席したいという場合はどうなるのか。

事務局 便宜上2会場にした。チラシには2会場で開催することを示し、どちらの会場にも参加しやすいように記載する。

委員長 次に、第3号議案「第8回会議開催日程について」を議題とする。事務局より説明を求める。

事務局 10月28日（水）を提案するがいかがか。

委員長 皆さんいかがか。

委員 異議なし。

委員長 特に異議がないようだ。次回は10月28日（水）とする。

事務局 次回の議題は、地区説明会の打合せ等を中心に協議し、今後の検討事案が出たら、それも議題としてお知らせする。

委員長 第7回会議を終了する。ありがとうございました。

5 閉会